

自分のことわざ「信じて」

新年明けましておめでとうござります。年はじめには、雪が多く積もり、子供達は喜んで雪遊びをしたのではないのでしょうか。そのような中、七日から三学期がスタートしました。

さて、始業式では、「自分のことわざ『信じて』」三学期にしてみよう」という話をしました。

みなさんは、一学期・二学期に多くのことを学んだり、体力を付けたり、行事を通して多くの力を付けたりのってきています。協力したり自分から進んで行動したりする力もそうです。このような素晴らしい力が、もう皆さんの中には備わってきているのです。そうだった今まで自分が生きて身に付けた力を信じて、思いっきり、いろいろなことに挑戦（チャレンジ）して、「楽しんで」「三学期を創っていきましよう。先生は、正月に大学駅伝（箱根駅伝）を見るのが好きです。すると、走る前、選手の次のような声が耳に入りました。【一年間練習してきた成果を二日間に出し切る。そのためには、一年間自分が練習したことを信じているしかないのです。】

皆さんも、この一年間が最高だったと言えるように、今までの自分のしてきた力を信じて、思いっきり、「やってみましよう。」「そして、」「楽しみましよう。」「最高の一年にしてましよう。」

今の学年も残すところ約五十日となりました。子供達は、いろいろな活動を通して、成長し続けています。様々な力を付けています。子供達が自分を信じてこの学年を締めくくるとともに、新しい学年へステップアップできるようにするために、神石小学校職員一同、力を合わせてしっかりと支援していきたいと思えます。保護者・地域の皆様には、本年も引き続き本校へのご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

校長 田丸 栄